

日本労働年鑑 第52集 1982年版
The Labour Year Book of Japan 1982

第二部 労働運動

XIII 政治的大衆行動と平和運動

概要

一、第五二回メーデーは、政治の右傾化と軍事化がすすみ、一方で、国民生活の悪化が顕著となる情勢下、軍事化反対、平和確保、福祉切り捨て反対等のスローガンが目立った。

一、八〇年原水禁世界大会は、核軍拡競争が悪化の一途をたどり、核の脅威が地球全体にひろがっているなかでひらかれ、海外からの参加者は、昨年、一昨年をはるかに上回った。今年の世界大会は、国際的には、八二年の第二次国連軍縮特別総会をひかえ、国内的には、被爆者援護法制定運動のヤマ場を迎えるなかでひらかれ、七七年以来四回目の統一大会となった。

一、被爆者団体を中心にすすめられてきた被爆者援護法制定の運動は、八〇年一二月一日「原爆被爆者対策基本問題懇談会」の「意見書」発表に前後して、活発化した。

一、三・一ビキニデーは、三年ぶりの統一集会となった。地元の青年・婦人・消費者団体が正式参加し、またパラオやハワイ代表もくわわり、かつてないもりあがりを見せた。

一、「核持ちこみ」反対運動では、米空母ミッドウェーの横須賀帰港にたいする抗議行動を中心に、八一年五月、六月と全国各地で大・小の集会・デモが相次いだ。

一、金大中氏救出運動は、死刑執行が現実的となった八〇年十一月・一二月に大きな高揚をみた。

一、公職選挙法改訂案が八一年三月、国会を通過したが、これに先立ち、同法改訂反対のとりくみが、総評、「公選法改悪阻止闘争連絡会議」などによって展開された。

一、教科書改定問題にたいする大衆運動は、教科書執筆者、出版・教員組合などを中心に、徐々にひろがりを見せている。

日本労働年鑑 第52集 1982年版

発行 1981年11月30日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 労働旬報社

2001年9月18日公開開始